

(別紙)

障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名

東京都

【基本情報】

| | |
|---|---------------|
| フリガナ | シャカイクシウカウジンツキ |
| 法人名 | 社会福祉法人つみき |
| フリガナ | ツミキ 17 |
| 事業所名 | つみき第7 |
| 提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択） | |
| 放課後等デイサービス | |
| 職員数（常勤換算数）【「全職員の月間勤務時間数」／「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休・休職は除く）】 | |
| 4.8人 | |
| ICT機器等導入完了日 | 令和 7年 3月 31日 |

※行・列の追加は行わないでください。

（1）モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

| 業務内容 | ICT機器等の導入・活用状況 |
|---------------|-----------------------------------|
| 支援記録の作成 | ①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている） |
| 職員間の情報伝達・情報共有 | ①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている） |
| 請求業務 | ①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている） |
| 勤怠管理 | ①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている） |
| シフト表作成 | ①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている） |
| 給与業務 | ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等で対応） |

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等で対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等で対応）

（2）モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

| ICT機器等の種別 | 導入目的 | 製品名 | 台 数 | 備 考 |
|--------------------|---------|----------------------------------|-----|-----|
| ⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト | ③業務の統合化 | 株式会社リタリコ 運営支援 | 3式 | |
| ①パソコン | ③業務の統合化 | HP ProBook G10/G1/SQ2 NotebookPC | 1台 | |
| ③タブレット | ③業務の統合化 | タブレット Surface Go4 | 1台 | |

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次のなかから特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
- ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
- ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理・シフト表作成・給与業務など）
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

| 業務内容 | 業務従事者数 | 発生件数 | | C. 1件当たりの平均処理時間 | 年間業務時間 D (B×C) | 1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数) | 備考 |
|-------|--------|------------------|--------------------|-----------------|-------------------|-----------------------------|----|
| | | A.ひと月当たり 発生件数 | B.年間発生件数 (A×12) | | | | |
| ③請求業務 | 1人 | 37件 | 444件 | 30分 | 222時間 | 222時間 | |
| | | | 0件 | | 0時間 | #DIV/0! | |
| | | | 0件 | | 0時間 | #DIV/0! | |
| | | | 0件 | | 0時間 | #DIV/0! | |
| | | | 0件 | | 0時間 | #DIV/0! | |
| | | 37件 | 444件 | 30分 | 222時間 | #DIV/0! | |

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1> A. ひと月当たり発生件数の算出方法

月、37件の請求業務を1名で行う

<※2> C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

1件当たり処理時間30分

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

| 業務内容 | 業務従事者数 | 発生件数 | | C. 1件当たりの平均処理時間 | 年間業務時間 D (B×C) | 1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数) | 備考 |
|-------|--------|------------------|--------------------|-----------------|-------------------|-----------------------------|----|
| | | A.ひと月当たり 発生件数 | B.年間発生件数 (A×12) | | | | |
| ③請求業務 | 2人 | 37件 | 444件 | 20分 | 148時間 | 74時間 | |
| | | | 0件 | | 0時間 | #DIV/0! | |
| | | | 0件 | | 0時間 | #DIV/0! | |
| | | | 0件 | | 0時間 | #DIV/0! | |
| | | | 0件 | | 0時間 | #DIV/0! | |
| | | 37件 | 444件 | 20分 | 148時間 | #DIV/0! | |

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1> A. ひと月当たり発生件数の算出方法

月、37件の請求業務を2名で行う

<※2> C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

1件当たり処理時間20分

年間業務時間削減率 (%)

33.3%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

| 作成文書 | 作成文書量 | |
|------|----------|---------------------|
| | A.ひと月当たり | B.年間作成文書量 (A×12) |
| | | 0ページ |
| | | 0ページ |
| | | 0ページ |
| | 0ページ | 0ページ |

④ ICT機器等導入後の作成文書量

| 作成文書 | 作成文書量 | |
|------|----------|---------------------|
| | A.ひと月当たり | B.年間作成文書量 (A×12) |
| | | 0ページ |
| | | 0ページ |
| | | 0ページ |
| | 0ページ | 0ページ |

年間作成文書量削減率 (%)

#DIV/0!

(4) ICT機器等の導入効果

①事業所におけるICT機器等導入の推進方法

ICT機器の導入にあたり担当を任命し、担当から他の職員に業務方法の手順を説明した。初期入力に時間がかかり苦労した。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。

また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果

- 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
- 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
- 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
- 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
- 5 その他の効果があった。
- 6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

ソフトウェア導入による効果

- 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
- 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
- 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
- 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
- 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
- 6 その他の効果があった。
- 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

- ・福祉介護業務支援システムを導入した結果、実績データの内容の抜け落ちやミスが減少した
- ・パソコン、タブレットの導入の結果、複数人で請求入力が可能となり、業務時間の短縮となった

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

削減効果で得られた時間は職員会議の時間に充て、利用児のより良い支援へつなげていく

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減 無

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

| 縮減額（円） | |
|------------------------|--|
| 職員の賃上げ等への充当 | |
| その他職場環境の改善への充当（※1） | |
| サービスの質の向上に係る取組への充当（※2） | |

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。